

ハ二枚物。三箇餘ルハ三枚物ナリ、一箇餘ル者ハ四年物ナリ、十箇餘ル者ハ長サ七八尺ナルベシ、カクノ如キモノハ肉勁ク酸味アリテ佳ナラズ、鯉ノ長サ三四寸ヨリ扇尺マデナルヲヒツプイ江州ト云、長サ一尺許ナルヲハヤリ、備前ト云フ、三寸マデノ者ヲ乳ゴヒト云、婦人乳藥ニ用ユ故名ク野必大小鯉ヲ文正ト云、今武州ニテ小鯉ヲブンシロト云、文正ノ轉ナルベシ、又形大ニシテ短ク背ニ節アルヲ、エビスゴヒ江州ト云、

〔貞丈雜記^六飲食〕一庖丁人の家にて云、鯉の名所の事、うなもとは、頭の方より第一の背のひれ也、うびたとは、腹の方第四の右のひれなり、さひだとは、腹の方第四の左のひれ也、すぎさしのひれとは、腹の方第五のひれなり、ことゝめのひれとも云、婚禮の祝には、ことゝめのひれをば、式三獻の時には用ざる事、庖丁人の故實なり、子をとゝむるといふ心にて忌也、懷妊の婦人、著帯の祝にも忌むべし、子をうみ出すこそよけれ、子をとゝむる事は忌む也、土すりのみとは、腹の下の肥たる所の肉を云、すんずりの身とも、つちずり共云は、水底にゐる時土をする所也、すんずりと云も、すなずりと云事なり、うすみとは、腹の方肉のうすき所をいふ、あつみとは、背の方肉の厚き所也、

鯉種類

〔重修本草綱目啓蒙^{二十九}〕鯉魚^略○中

鯉魚ニ色赤キモノアリ、赤鯉魚^{本草類}ナリ、コヒノ王江州ト云、純白ナル者アリ、黄色ナル者アリ、黒

白斑駁ナルモノアリ、深紅色ナルハ金鯉^{函史}ト云、コレハ金魚ノ品ナリ、

増一種ウミゴヒト呼モノアリ、紀州海士郡雜賀崎浦ニテ稀ニ釣取ル形、鯉ト同クシテ、唯腹ニ細

赤條アリテ尾ニ至ル、大抵一尺許ヨリ大ナルハ見ズ、肉ハ鯉ヨリ柔ニシテ味劣ル、廣東通志ノ高

州府土産ノ中ニ海鯉ヲ載テ注ナシ、恐クハ是ナルベシ、桃洞遺筆ニ見ベタリ、

鯉産地

〔延喜式^{二十四}主計〕美濃國^略○中 中男作物^略○中 鯉

〔侍中群要^二同例子^{御厨}所例〕云、延喜十一年十二月廿日官符、始定六箇國、日次御贄、山城國^略○中 鯉^{中略}一日